

心のバリアフリーの定着のためには「繋ぐ」「追う」

障害のある子ども

埋まらない心の距離感

障害のない子ども

交流 ネットワーク

○国にとっても重要課題

多様性を意識・定着させるチャンス

オリンピック パリンピック

○障害者スポーツ
○交流及び共同学習
○施設の研修会実施、研修生の受入れ等が有効

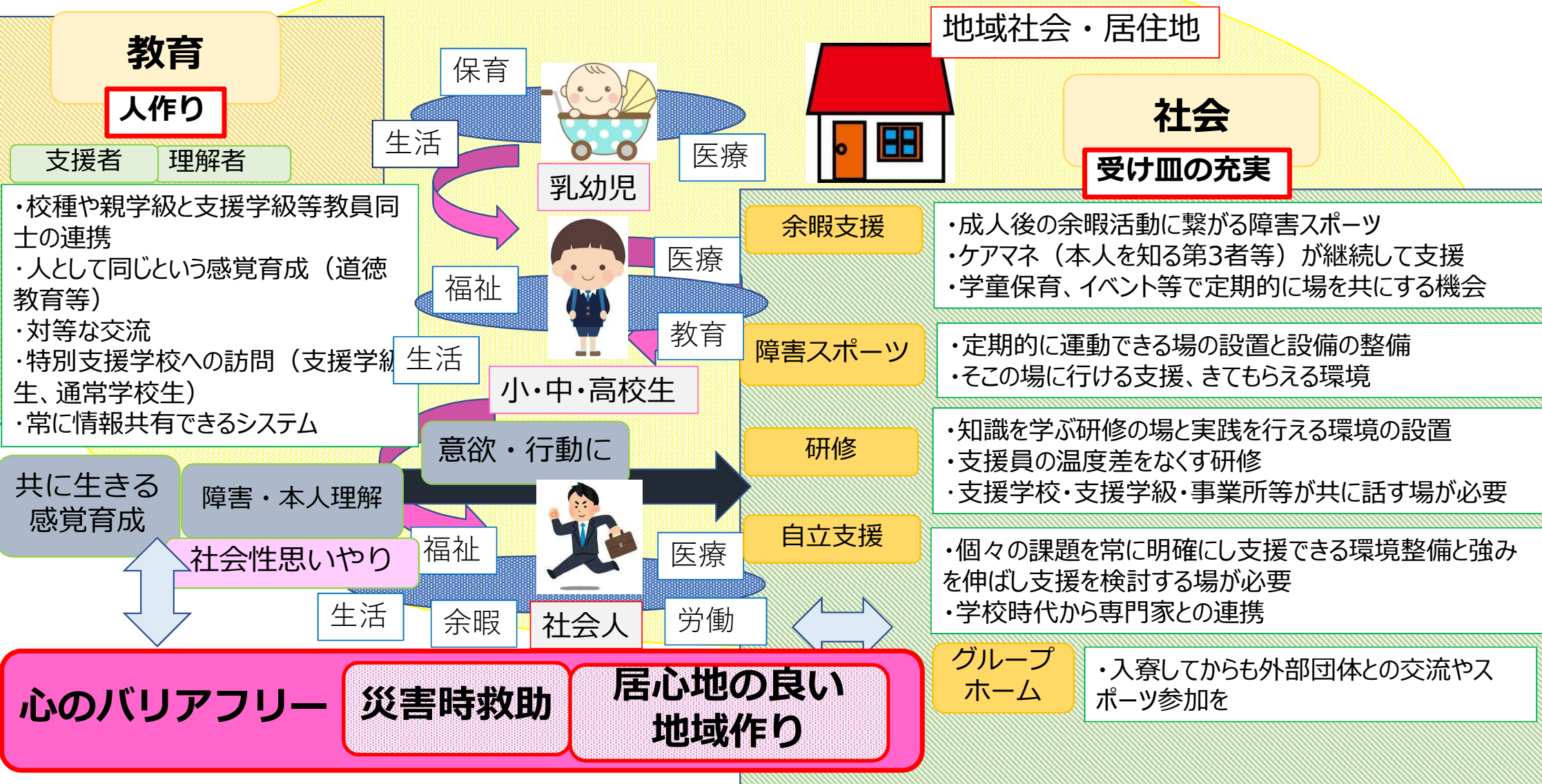
点から線や面へ【支援を繋ぐ・課題を追う】

多様性を定着

オリンピック・パリンピック後も評価・改善

心のバリアフリーという視点で「繋ぐ」「追う」

点から線・面へ【繋ぐ・教育（人作り）は未来の社会を作る（受け皿の充実）】



10年後の心のバリアフリーの定着に向けて具体的対応策、評価指標

学校

通常学校(通常学級)

特別支援学校(特別支援学級)

地域

凡例

課題

厚労省関係

文科省関係

教委・学校関係

障害者福祉関係

下線 委員の言葉

10年後向上

提案

多様性を大事にできる学級・学校・地域作り

交流及び共同学習の多様な活動内容情報提供(実施済)
多忙な中でのメリットの明確化
共有できる情報システム
管理職・教員研修等に位置づけ

すべての児童生徒が交流及び共同学習を経験する

学校全体で機運の向上
教職員の理解
保護者の理解 支援

交流及び共同学習の多様な活動内容情報提供(実施済)
交流実施のメリットや実践方法の明確化
共有できる情報提供システム
管理職教員研修等に位置づけ

アウトカム指標:
交流及び共同学習の実施率

生徒・教職員・生徒・保護者の交流の理解 ①居住地域住民として②就労に向けて 正しい障害理解・本人理解

教職員・本人・保護者が交流を理解し推進
本人・保護者の交流意欲の向上
丁寧な引継ぎの実施

心のバリアフリーの「課題を追う」 心のバリアフリーに特化した人や組織の設置し「繋ぐ」

アウトカム指標:
心のバリアフリーを評価・改善案

地域全体 障害者理解の促進

地域全体で受け入れる素地の育成

地域の施設開放、交流機会

地域を包括した合同研修会等「場の提供」「体験、研修受け入れ」「障害者の作成した製品の認知、発注・受注」

経営者として障害者雇用率の向上・従業員としての仲間意識

地域のスポーツ団体・障害者スポーツ団体との連携と場の設置と設備の整備

余暇支援の充実・障害者も含めての企画運営

アウトカム指標:
障害者の社会参加率(就労割合等)、地域における障害者支援ボランティア参加率

社会参加に向けた素地の育成

役割分担

共に企画から参加し意見を述べ、活動し、省察することができる場 交流機会の充実

居住地校交流 1 年間の流れ

